



新美敦 歯科口腔外科部長

「インプラント治療」は、なくなった歯の代わりに、人工の歯根をあごの骨に手術で埋め込み、その上に人工の歯を装着します。骨にしっかりと定着させるため、もともとの自分の歯のように使えるようになります。口内が新しく生まれ変わると期待を膨らませる人も多いようですが、手術が

③1 インプラント治療(歯科口腔外科)

伴い、治療後も破損や感染などの可能性があり、過剰な期待は禁物です。

歯を失った場合の治療は他に、取り外しのできる「入れ歯」、両側の歯を削って固定する「ブリッジ」の二種類。インプラントも含め、それぞれ一長一短があり、最適な選択が必要です。

インプラントの場合、埋める場所の骨が十分かどうか、安全に手術する上で神経や血管の位置に問題がないかなどをきちんと調べるため、当院ではまずコンピューター断層撮影(CT)を行い、



インプラントの治療計画を作るために使うCT診断装置＝名古屋市中区の中日病院で

そのデータに基づいてコンピュータ上で治療計画、インプラントを勧め画を作ります。手法によって手術回数も変わります。後でトラブルになったり、後悔したりしないよう、診断結果を基に医師と相談して決めることが大切です。
(新美敦歯科口腔外科部 長・談)

手術は慎重な判断必要



中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎中日病院＝052(961)2491